



古から伝承されたしきたりや厳格に守り抜く
生里ももて祭
重要無形民俗文化財に指定



▲「家内安全」「交通安全」の短冊をつけた木をかつき、踊る幸領人と呼ばれる頭屋2人



▲射手が海水を浴びて体を清める「潮垢離」



▶上半身をかがめて、身を低くした姿勢で射るのが特徴の一つ



▲射手が弓と矢を携え、大きな弧を描きながら射場を横走り、場を清める儀式「アミ」



▲最年少は16歳。地域が一体となり、祭を盛り上げる



▲42歳厄年の「ダイヤクさん」は、弓射して的外すと、射手に扇で叩かれ、厄が落ちるといわれる



▲祭を見守る会長をはじめ中心役の3人



▲的に当たると観客席からご祝儀の御花が

重要無形民俗文化財指定書
 生里ももて祭保存会
 文部科学省
 文化庁
 平成26年3月1日現在
 指定した重要無形民俗文化財
 として、重要無形民俗文化財
 に指定されました。
 平成26年3月1日現在
 三豊市立三寶大荒神宮

みとよんと学ぶ **先手の防災**

緊急地震速報が放送された**その時!**の対応を学びます。

M's Lesson ①

もしあなたが **料理中** なら

- すぐに、火を消せるときは火を消し、元栓も閉めましょう
- 大きな揺れの場合は、身を守ることが最優先! 大揺れを感知すると自動的にガスの供給を遮断するガスマイコンメーターの設置がある場合は、決して無理はしないようにしましょう
- 台所には食器棚や冷蔵庫など危険がいっぱい。なるべく早く台所から離れ、柱が多く壁に囲まれた部屋へ避難しましょう

3 生里ももて祭 重要無形民俗文化財に指定

4 施政方針と予算

14 M's Information みとよ暮らしのおしらせ①
 税務課からのお知らせ / 国民年金

16 みとよHOT ほっとNEWS(ホットニュース)

18 M's Information みとよ暮らしのおしらせ②
 バス路線と時刻変更 / 住宅の耐震対策支援 / 若者定住促進 / 住宅用太陽光発電設置補助 / 鳥獣被害防止対策補助金 / 耕作放棄地対策 / 福祉タクシーの申請 / 日常生活用具の給付 / 遺児年金支給事業 / 有害ごみ・金属ゴミ収集 / 国保人間ドック / 高齢者肺炎球菌ワクチン予防接種 / 窓口負担割合変更 / 水処理課からのお知らせ / 春のおまつり

25 M's 深読みひろば
 男女共同参画 / 文化財

26 4月のお知らせ
 募集 / 相談 / 講座・教室 / イベント / 納税のお知らせ / マリンウェブ情報 / 国際交流協会

29 保健・相談

30 ここ笑み通信 ~子育てするなら三豊が一番!~
 子育て応援サービス券 / つどいの広場開催日時変更 / 水ぼうそう予防接種補助額変更など
 M's Smile ふおとぎやらしい / 乳幼児健診など

32 みとよ写真帳 / 編集後記

三豊市の人口 ※平成26年3月1日現在 ()内は前月比
 世帯数 23,190 世帯(+18) 総人口 66,557 人(-39) 男 31,717 人(-7) 女 34,840 人(-32) ※香川県人口移動調査による

表紙 **今月の市民力**



本格的な春の訪れを前に、矢を放ち、1年の大漁豊作や地域の安全を祈願する伝統行事「生里ももて祭」。大きな歓声や拍手が沸き起こり、華やかにぎやかな祭の裏には厳しいしきたりが隠されています。

生里ももて祭保存会の皆さんは、手順や準備物などきめ細かに記された記録帳に従い、準備を進めます。的の作り方から材料までも定められていることから、頭屋を中心に1カ月以上かけて、当日を迎えることができるのです。

大江壽昭会長は「ももて祭は、地域の皆さんの協力やつながり、強い信念があつてこそ、伝統と歴史を受け継ぎ、厳格に執り行われています。地域一体となり、共助の心も生まれています。先祖代々営々と受け継がれてきたことが評価されたのは誇りに思います。が、おごることなく、これまでどおり粛々と行っていきたいです」と気を引き締め、継承することへの思いを話してくれました。

浦島太郎誕生の地である生里で行われる伝統ある神事は、地域の皆さんによって守り支えられ、受け継がれています。

弓射行事としては全国初

旧暦の2月1日に最も近い日曜日に、三寶大荒神宮で弓を引き、五穀豊穡や漁業の繁栄、厄払いなどを祈願する伝統的弓射行事「生里ももて祭」が国の重要無形民俗文化財に指定されました。今回の指定は三豊市初、そして弓射行事としては全国で初めての指定となりました。

生里ももて祭は、現存する資料では安永3年(1774年)の古文書に記載があり、古くは延喜年間(901~923年)に始まったともいわれています。

射手の所作や海水につかり身を清める「潮垢離」などの儀礼を古式のまま厳格に守っており、ももてと呼ばれる行事の典型例として高く評価されました。

先人から託された誇りを胸に受け継いでいく